

2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年 11月1日



日本ガイシ株式会社

NGK INSULATORS, LTD.

本日のプレゼンテーション

- 2012年3月期 第2四半期 決算概要
- 2012年3月期 業績見通し
- セグメント別業績見通し
- 研究開発・設備投資

(億円)	前期('11/3)	当期('12/3)	前年同期比
売上高	1,200	1,223	+2%
営業利益	165	154	△6%
経常利益	143	144	+0%
四半期純利益	109	107	△3%
為替レート	91	82	円/US\$
	121	115	円/ER

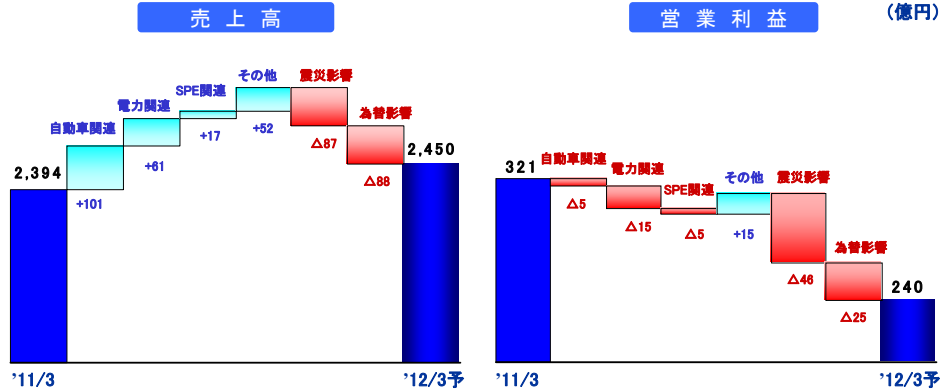
前年同期比 売上高は微増も営業利益は減少

- 電力 がいしは 震災影響で国内需要減 NAS電池の生産操業は低水準
- セラ 震災影響も海外市場の乗用車・トラック販売の増加を受けて、自動車関連製品の需要が増加
- エレ 半導体市況の悪化や震災影響による需要減などにより減益

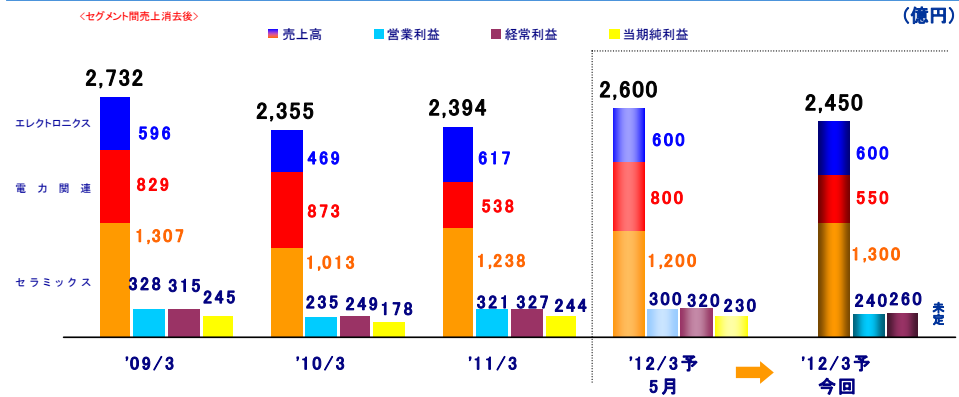
(億円)	前期('11/3)	当期('12/3)	前期比
売上高	2,394	2,450	+2%
営業利益	321	240	△25%
経常利益	327	260	△20%
当期純利益	244	未定	-
為替レート	88	79	円/US\$
	116	111	円/ER

前期比増収も各セグメントとも減益見通し

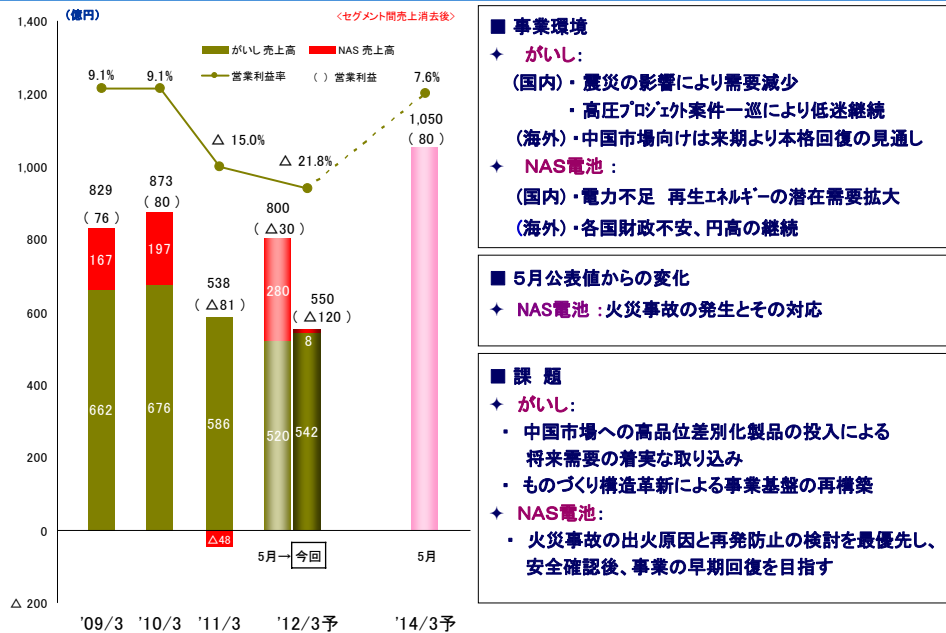
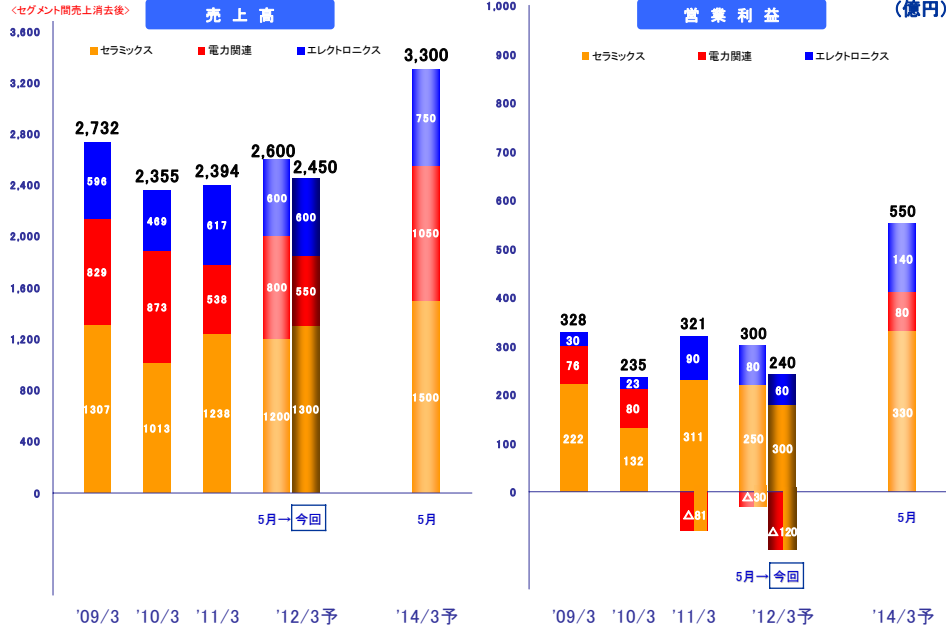
- 電力 がいしの震災影響による需要減などで減益
 - セラ 自動車関連製品を中心に堅調な一方、新拠点立上げ費用等により減益
 - エレ 半導体市況の悪化、震災影響による需要減 などにより減益
- <当期純利益>NAS電池の火災事故で見積り困難な費用が発生する可能性もあり未定

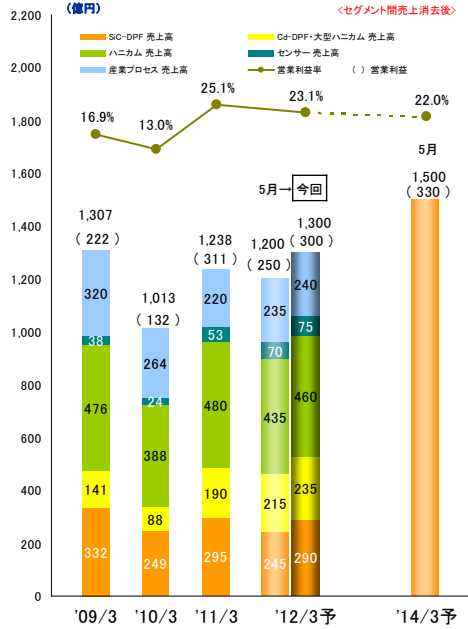


	震災影響・為替影響 事業別内訳			
	売上高		営業利益	
	震災影響	為替影響	震災影響	為替影響
電力関連事業	△35	△14	△21	△3
セラミックス事業	△27	△51	△10	△10
エレクトロニクス事業	△25	△23	△15	△12
合計	△87	△88	△46	△25



セグメント間で強弱あるも 5月公表値から下方修正	
■電力	NAS電池の火災事故影響により大口出荷の翌期ずれ込みと操業度低下で大幅な営業赤字の見通し
■セラ	自動車関連製品で新興国や欧米の需要が堅調で5月公表値を上回る見通し
■エレ	半導体市況悪化の影響などにより利益減少の見通し
＜当期純利益＞NAS電池の火災事故で見積り困難な費用が発生する可能性もあり未定	





■ 事業環境

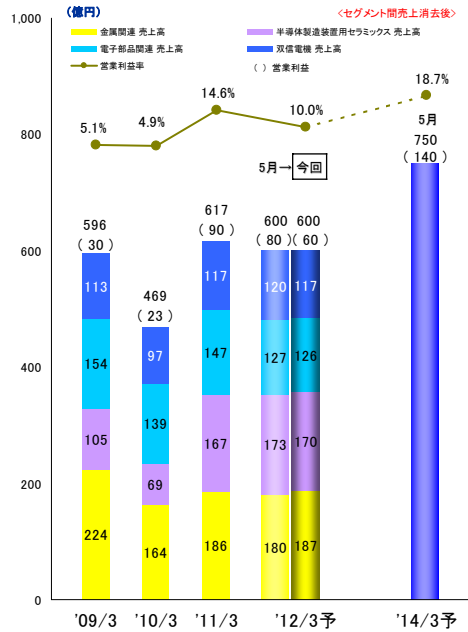
- 自動車関連:
 - 新興国の乗用車販売拡大、米国・欧州も堅調
 - 主要市場(日米欧)のトラック販売回復
 - 建機等オフロード車の排ガス規制開始
 - 欧州発端の景気後退, タイ洪水影響拡大の懸念
- 産業プロセス:
 - リチウムイオン(Li)電池等の成長分野で設備投資活発
 - エネルギープラント事業は震災影響で新設案件延期凍結

■ 5月公表値からの変化

- 自動車関連: 期首想定より販売台数増加、日系自動車メーカーの早期生産回復による震災影響縮小

■ 課題

- 自動車関連:
 - 拡大する新興国市場、オフロード市場への拡大
 - 石川・メキシコ工場の早期戦力化
 - 需要増に対応するグローバル販売・生産体制の確立
- 産業プロセス:
 - エネルギープラント事業は震災復興対応に注力



■ 事業環境

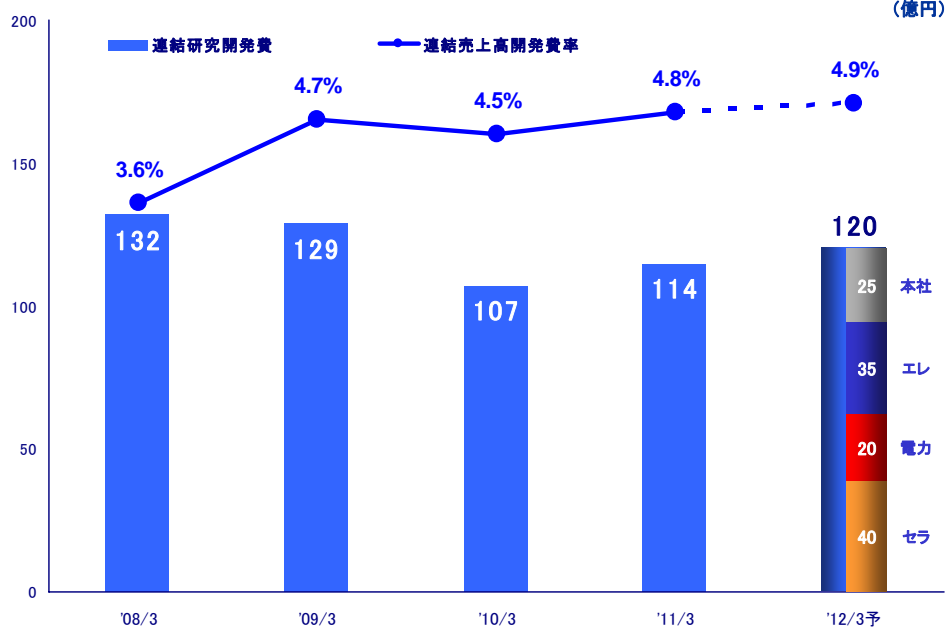
欧米を中心とした景気減速により、幅広い製品及び市場分野で需要が低調

■ 5月公表値からの変化

- 事業全般: 震災影響は当初の想定以下も円高懸念
- 半導体製造装置用セラミックス: 半導体メーカーの投資延期や凍結が相次ぎ、期初好調であった半導体装置市況は急速に悪化
- ベリリウム銅展伸材: パソコン等のデジタル製品に加えて、一般家電製品の需要も鈍化

■ 課題

- 事業基盤の強化: 高性能製品投入による高収益の維持、ものづくり構造革新による収益体質の強化
- 新規事業創出による成長: 技術革新に対応した新製品投入



概要

名古屋工業大学内に「日本ガイシ イノベーション研究所」を設立。
産学一体で将来性のある有望技術シーズに先行着手し、
基礎研究から量産技術までを一貫して迅速に開発する新しいスキーム。
期間は2011年4月1日からの3年間。

研究開発分野・テーマ

次世代半導体材料

【現状材料】

ITO (酸化インジウムスズ)
GaN (窒化ガリウム)

【開発コンセプト】

レアメタル代替
新規結晶育成技術

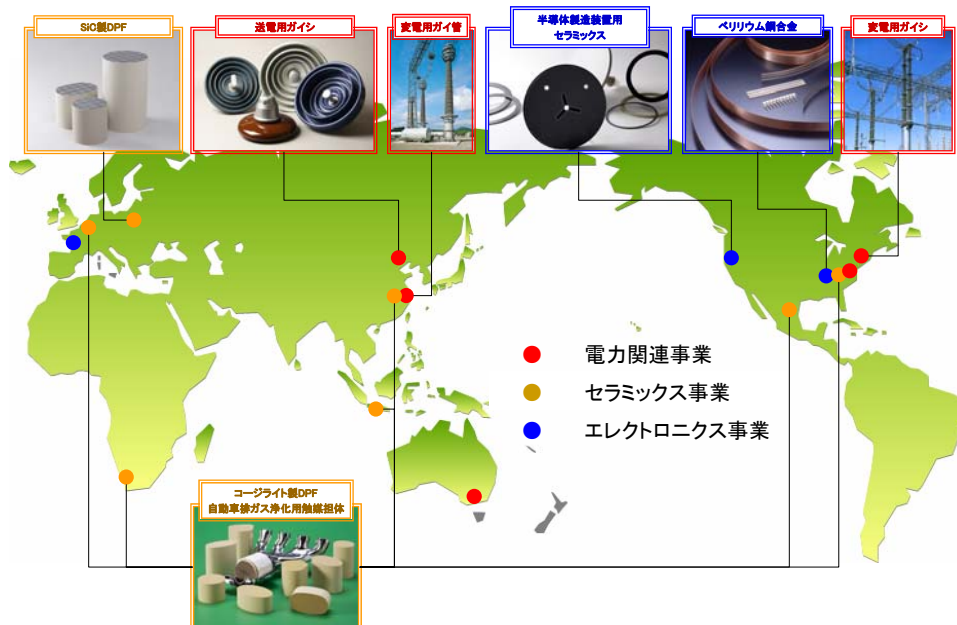
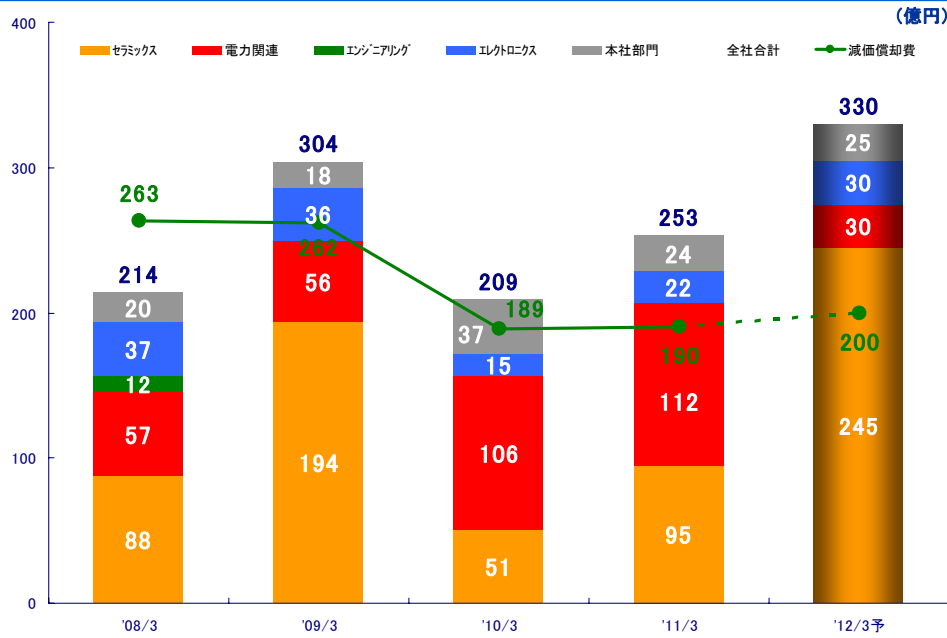
次世代電池用材料

高分子セパレーター
ジルコニア固体電解質

新規分離機能
高イオン透過性

新スキームの特徴

名古屋工業大学の5研究室と日本ガイシの4研究部門が複合して連携。
様々な技術要素の研究開発を同時並行で進めることが可能に。



<セグメント間売上消去後>

(億円)

	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期(予)
が い し	662	675	585	542
N A S	167	197	△48	8
電力関連合計	829	873	538	550
ハ ニ カ ム	476	388	480	460
S i C - D P F	332	249	295	290
Cd-DPF・大型ハニカム	141	88	190	235
セ ン サ ー	38	24	53	75
産業プロセス	320	264	221	240
セラミックス合計	1,307	1,013	1,238	1,300
金 属	224	164	186	187
半導体製造装置セラミックス	105	69	167	170
電 子 部 品	154	139	147	126
双 信 電 機	113	97	117	117
エレクトロニクス合計	596	469	617	600
全 社 合 計	2,732	2,355	2,394	2,450

<セグメント間売上消去後>

(億円)

	11年3月期		12年3月期(予)	
	上期	下期	上期	下期
が い し	285	300	269	273
N A S	11	△59	5	3
電力関連合計	296	242	274	276
ハ ニ カ ム	250	230	226	234
S i C - D P F	152	143	153	137
Cd-DPF・大型ハニカム	84	106	115	120
セ ン サ ー	23	30	37	38
産業プロセス	82	138	102	138
セラミックス合計	592	646	633	667
金 属	96	90	100	87
半導体製造装置セラミックス	72	95	93	77
電 子 部 品	84	63	65	61
双 信 電 機	60	57	58	59
エレクトロニクス合計	312	305	316	284
全 社 合 計	1,200	1,194	1,223	1,227

この配布資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。



〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

IR窓口：財務部 開示グループ

Tel. (052) 872-7212 Fax. (052) 872-7160

E-mail: ir-office@ngk.co.jp

Homepage: <http://www.ngk.co.jp>